

馬毛島文化財調査について

西之表市教育委員会 社会教育課 文化財係
西之表市 企画課 歴史文化活用係

調査日 令和4年10月11日(火)、11月21日(月)、11月22日(火)

調査の目的 馬毛島の文化財の現状を調査確認し、記録を行う。

調査参加者 10月11日：16名、11月21日：12名、11月22日：8名

主な調査内容、結果

1 地質・地層等調査

島内を踏査し、火山噴出物等の確認、記録を行った。島内北部では、サンゴ石灰岩(津波石)の観察を行った。最も大きいものは周囲13.3m、6m×2.3m×2m(高さ)であった。

2 トーチカ・爆弾投下の調査

現状を確認し、3Dレーザースキャナー機器による測量とフォトグラメトリ(3Dモデル)作成用の写真撮影を行った。爆弾投下的については、大半が土に埋もれていたが、当時のものと考えられる板状のコンクリートの一部が現存していることを確認した。

3 漁撈小屋群跡調査

洲之崎小屋、住吉小屋、池田小屋、能野小屋のドローン撮影、フォトグラメトリ(3Dモデル)作成用の写真撮影を行った。また、各小屋の一部については、個別に計測等を行い、記録を行った。その他、池田小屋側の石塔などもフォトグラメトリ(3Dモデル)作成用の写真撮影を行った。

4 埋蔵文化財分布調査

①石器の発見

中央部付近の崖際から東側へ緩やかに傾斜する場所で、数点の石器を発見、採集した。その他にも、焼土跡や焼けた礫も確認できた。発見した石器は周辺の火山灰の状況から3万年を越えるものと考えられる。(33,000～30,000年前の間)

石器を発見した場所は、埋蔵文化財包蔵地の可能性が高いので、その旨を鹿児島県教育

委員会へ報告する準備を行っている。



石器発見地

②骨片の様なもの、金属プレートの発見

南西部の砂丘で、骨片の様なものと楕円形の金属プレート1点を発見し、種子島警察署へ報告した。



石器・骨片の様なもの・金属プレート発見地